

## 令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

### 【市町 目標】

- 「読み解く力」向上を図るための授業開発、実践の推進を図る。
- 「個別最適な学び」「協働的な学び」のツールとしての効果的なICT活用の促進を図る。

### 【学校 目標】

- 授業づくり(日々の授業・校内研究)、カリキュラム編成を軸として、児童が関心を持って学習に臨み、確かな学力を身につけて「なるほど」「わかった」「できた」が実感できるような教育活動を目指す。

### 【現状と課題】

- 視点1 話す聞く力、活用する力、記述する力に課題があり、自分の考えや思いを明確にして表現する力が弱い。
- 視点2 外国籍児童や学力が低い児童も多く、「分からない」「どうしていいか困る」という児童が多数おり、学習意欲につながりにくい。
- 視点3 特別な支援を必要とする児童が多く、達成感を味わえるような経験が十分ではない。

### 取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

#### 【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○思いをもって聴き、自分の思いや考えを発信できる児童を育てる授業づくり	・児童アンケートで、「あなたは、学習をして『聴きたい、話したい』と思った」が70%以上を目指す。		

#### 【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○日々の授業改善と、わかる授業づくり	・児童アンケートで、「授業内容がよくわかった」が70%以上を目指す。 ・教師アンケートで「授業改善に取り組めた」が70%以上を目指す。		

#### 【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○学校組織での、先を見通した計画的な教育課程の編成と授業研究会の開催	・職員対象の学校評価で「研究の方向や内容は明確で、推進体制は適切であったか。」が70%以上を目指す。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

・4月の校内研究全体会で、今年度の研究テーマを伝える機会に、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について協議する。

・取組事項については、学校便り等で保護者や地域に向けて発信する。

・年度初め、9月、2月に児童と教職員に向け授業アンケートを取り、児童や教職員の意識の変容を見取り、実施計画に反映する。